

タイトル	デザイン（平面に立体表現）		
学校名	千葉県立 柏南 高等学校	美術	氏名 勝田 裕司
教材費	約 500 円	実施時間数	14 時間

### 1. ねらい

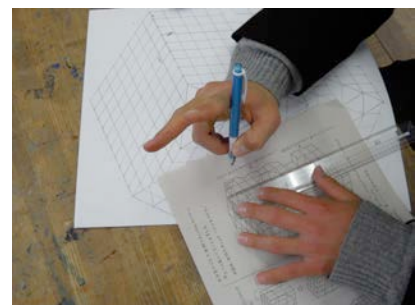
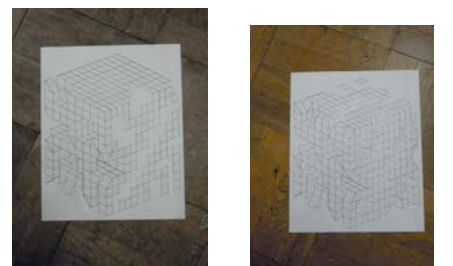
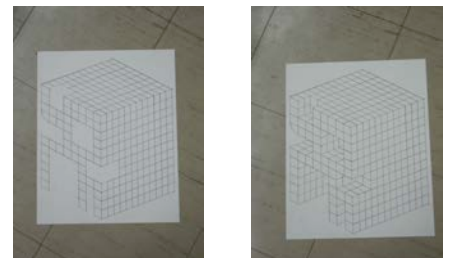
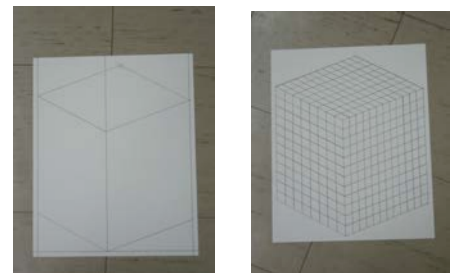
三面のバランスや見えない部分を意識させることで、立体感覚・空間認識力・多方面から物事を考える力等を高めさせたい。また、彩色では色彩の基礎で学んだことを活かして行わせる。

### 2. 材料

画用紙、アクリル絵の具、水彩筆、鉛筆、消しゴム、定規、コンパス、耐水性のボールペン

### 3. 展開

	主な内容	
導入	プリントを配付して、目的・制作の流れ・制作上のルールを説明。	1
構想	プリントにある基礎を練習し、自分なりのアイデアを出し、下書きを藁半紙に描く。	2. 5
制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>下図を画用紙に描く</li> <li>下書きを基とし、立体を作りたい場所を消しゴムで消し、中を描いていく。大きく抜いてから小さい物を考える。</li> <li>三面のバランスを考えながら進める。</li> <li>出来上がったら間違いがないか点検し、なければ耐水性のボールペンで線をなぞり、消しゴムをかけ汚れを落とす。</li> <li>光の流れを想定し彩色。</li> <li>同方向面は同色で塗り、曲面はグラデーションにする。</li> <li>出来上がったら色の上からボールペンで線を引き完成。</li> </ul>	10
まとめ	提出作品を基に講評。	0. 5



#### 4. 制作上のルール

- ・実際に出来るもの。不思議な空間は作らない。
- ・基本図形からはみ出した形は作らない。
- ・線だけの壁を作らない。必ず厚みをつける。
- ・線は豆腐の賽の目切りのように図形の中まで入っている。
- ・同じ方向の面は同じ色で塗る。
- ・斜めの面は上下左右で色を変える。
- ・曲面は面の方向（色）を考え、グラデーションに塗る。
- ・一面だけ彩色する者は光に方向を設定し、陰になる方向の面を塗る。

#### 5. 指導上の留意点

- ・制作説明のプリントを配付する。
- ・基本図形は遠近法を使用しないで作図する。
- ・基本的な形の作り方を黒板に見本を描きながら全員が理解できるまで行う。
- ・黒板に見本作品を貼っておく。制作作業が始まったら各机上看見本作品を配る。
- ・平行に線を引くことを徹底させる。
- ・大きく抜いてから小さい部分を作っていく。実際に黒板でやってみせる。
- ・机間を回りながら、間違っている部分（意外と多い）を早めに見つけ指摘する。

#### 6. 完成作品

